

# 彩の国コバトンプラン 実行策



©Kobaton

目指す事務職員像  
実現のための  
3つの戦略

- 戦略1 研究・研修の充実
- 戦略2 学校事務組織の活用
- 戦略3 職務の確立と事務規程の整備

目指す事務職員像実現のための3つの戦略は、組織的に行うことが有効です。実行策では、埼玉研本部・埼玉研支部・市町村事務研・共同学校事務室、それぞれの組織が行う行動を示しています。戦略の実行には、県教委や市町村教委との連携が不可欠です。

年次	令和6年度 ~ 令和10年度	
埼玉研本部	研究担当	学校事務における課題に対応した研究の推進
	研修担当	学校事務職員の資質向上を図る研修の企画・運営
	総務担当	会の運営基盤の確立、調査、記録
	財務担当	財政基盤の確立、財政面からの事業検討
	情報担当	情報発信、埼玉研webの運営
	県教育委員会との連携、 支部・市町村支援	
埼玉研支部	県教委（教育事務所）との連携 研究・研修の実施、会報等による情報発信・情報共有	
市町村事務研	研究・研修の実施、情報共有、市町村教育委員会との連携	
共同学校事務室 （共同実施）	実践とその共有、研修の実施、市町村教育委員会との連携 事務規程の整備	
会 員	自らの課題を探究する 組織運営を担うために必要な力量を身につける	

# 彩の国コバトンプラン

©Kobaton

## ～埼玉の学校事務グランドデザイン～



### 埼玉の子供たちの未来のために

保護者・地域の人々と共に  
子供の学びと豊かな育ちを実現する学校事務を目指します



埼玉研は、設立50周年を迎えた平成27年に、埼玉県の学校事務の将来構想である「彩の国コバトンプラン」を策定しました。「事務をつかさどる」「共同学校事務室」等、様々な法改正がされた後の令和元年には、国や県の動きを踏まえて改訂を行いました。今回の改訂では、これまでのコバトンプランを踏襲しながらも、目指す事務職員像を実現する道筋をより明確にすることを目指しました。

#### 【目標】

- 学校事務の機能や役割を明らかにする
- 目指すべき事務職員像を示し、実現の道筋を明らかにする



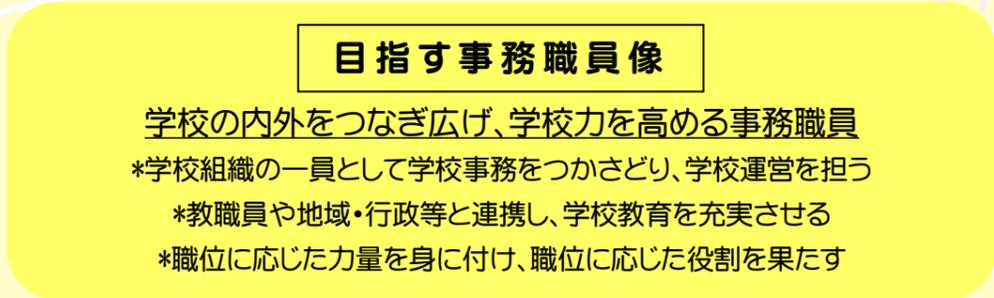
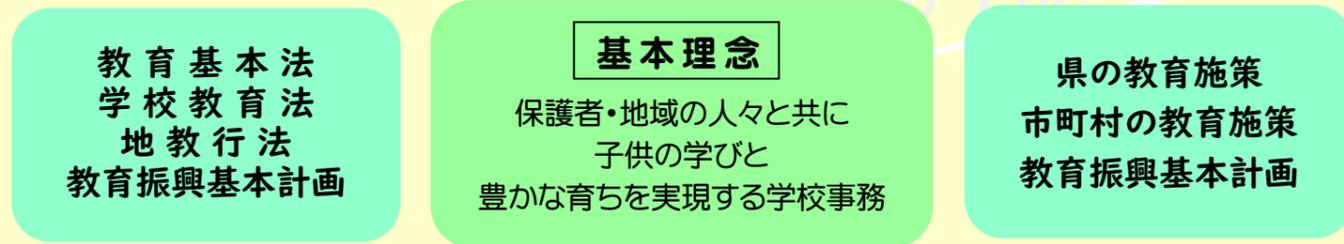
令和6年5月

埼玉県公立小中学校学校事務職員研究協議会

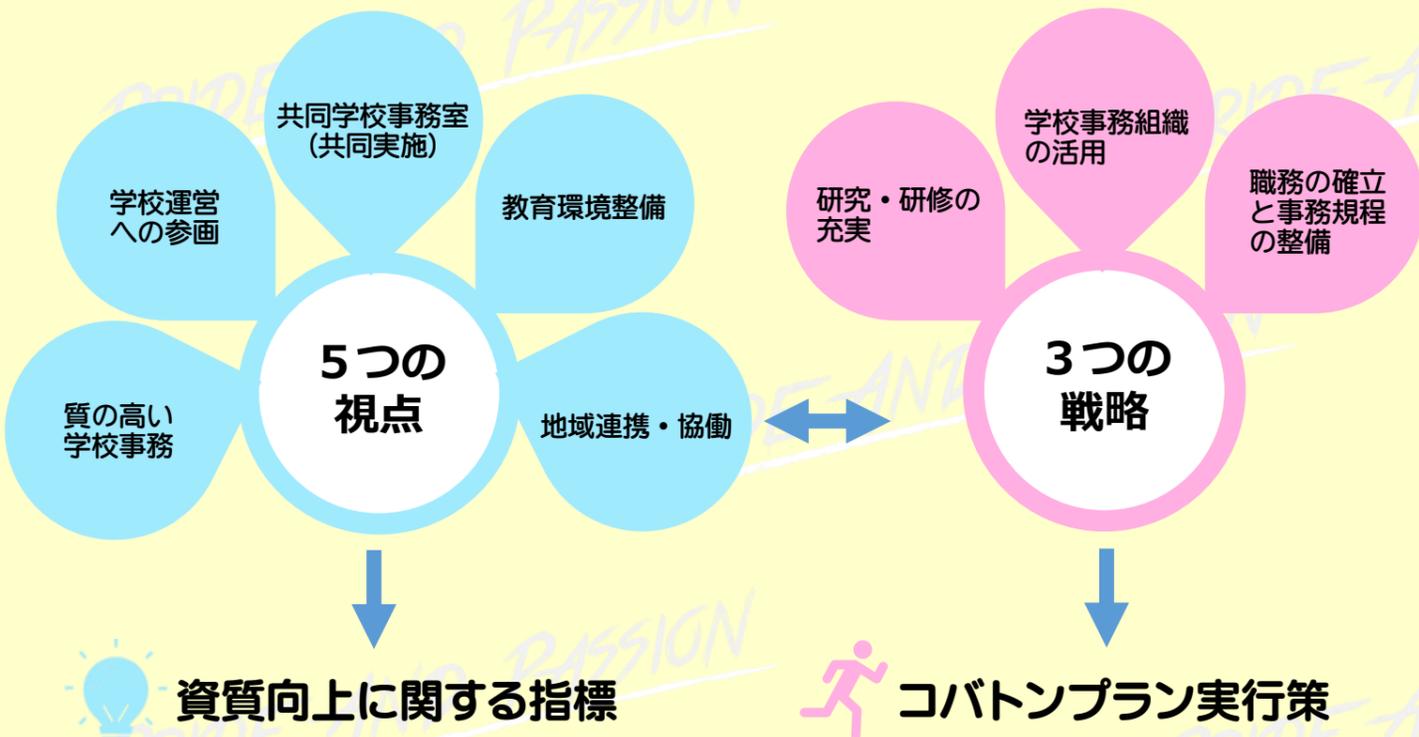
<https://saijiken.com>



# 彩の国コバンプラン 構想図



## 目指す事務職員像の実現に向けて



# 事務職員の資質向上に関する 指標

資質	職位	事務主事	事務主任	事務主査	事務主幹
事務職員として 持ち続けたい素養		常に自己研鑽に努め、自律的・主体的に学ぶ 教職員としての使命を自覚し、高い倫理観と児童・生徒等への教育的愛情を持つ 豊かな人間性やコミュニケーション力・幅広い教養・視野を持ち、家庭や地域など誰と でも協働する			
職務にかかわる 専門的知識や姿 勢・態度		職務に関する基本 的な知識を身に付 け、法的根拠に基 づき迅速・正確に 取り組む	職務に関する基本 的な知識を経験を 踏まえながら、学 校事務の改善に取 り組む	職務に対する高度 な知識と経験によ り学校事務に関す る企画・提案を行 う	職務に対する高度 な知識と経験によ り、幅広い視点に 立って、学校事務 に関する企画・提 案を行う
組織運営にかかわ る姿勢・態度 (学校運営)		学校教育目標達成 に向け、校務分掌 等について担当業 務の責任を自覚し、 報告・連絡・相談 を行いながら、自 己の役割を適切に 果たす	学校教育目標達成 に向け、校務分掌 等について学校全 体の運営を意識し ながら、正確かつ 迅速に対応し、他 の教職員と協働し 主体的に学校運営 に参画する	学校教育目標達成 に向け、校務分掌 等の組織を運営し、 各組織が有機的に 機能を果たすよう 努めると共に、他 の教職員と協働し 主体的に学校運営 に参画する	学校教育目標達成 に向け、専門的な 立場から学校運営 に参画し、課題解 決に努めると共に 管理職と共に教職 員の連携・協働を 推進する
組織運営にかかわ る姿勢・態度 (共同学校事務室)		組織内で学ぼうと いう意欲を持ち、 割り当てられた業 務を責任をもって 果たす	組織内で業務改 善・効率化、OJTの 推進などの役割を 担う	組織のリーダーを 補佐し、組織内の 連絡・調整を行う	組織のリーダーと して判断・指導を 行うと共に他の機 関との連携を図り 活動を推進する
児童・生徒等への 対応		児童・生徒理解のための基本的な知識を身 に付け、学校教育目標達成に向けた環境整 備を行う		児童・生徒等に関する理解に努め、環境整 備についての提案を行う	
地域連携・協働		組織の一員として 自らの役割を認識 し、家庭・地域等 の資源の収集や連 携を行う	家庭・地域等との 連携について検討 し、積極的に取り 組む	家庭・地域等との 連携についての立 案と実行に向けて 積極的に取り組む	家庭・地域等の実 態や資源を把握し、 関係諸機関との連 携を主体的に進め る
必要とされる力量		マネジメント力・コミュニケーション力・調整力・プレゼンテーション力・判断力・情 報処理能力・企画力・危機管理能力・教育課程に関する知識・コンプライアンス・事務 処理能力・リーダーシップ			